

2021年10月28日

セブン-イレブンと北陸電力グループが取り組む再生可能エネルギーの地産地消 北陸電力グループ初のオフサイトPPAによる電力供給を来春開始

2022年春より北陸地域のセブン-イレブン約300店舗に供給スタート

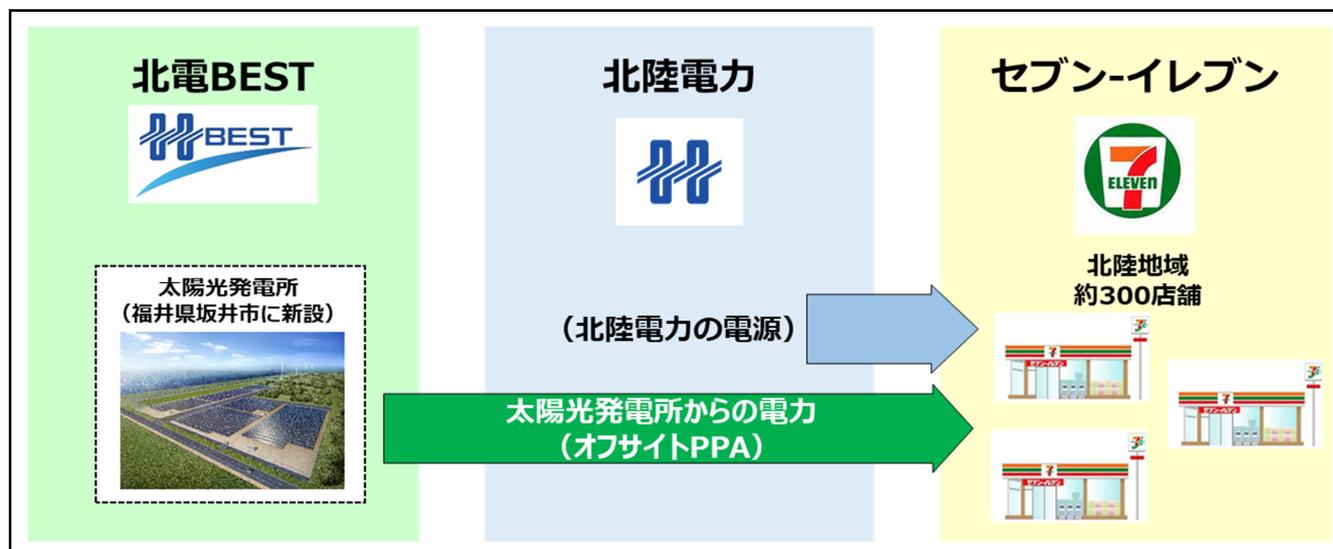
北陸電力株式会社（代表取締役社長：松田光司、本社：富山県富山市、以下、北陸電力）および北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社（代表取締役社長：長高英、本社：富山県富山市、以下、北電BEST）は株式会社セブン-イレブン・ジャパン（代表取締役社長：永松文彦、本社：東京都千代田区、以下、セブン-イレブン）に、2022年春より、店舗から離れた別の場所にある太陽光発電設備から、送配電線を介して北陸地域のセブン-イレブン店舗へ送電する電力供給を開始することとなりました。これは、店舗運営における使用電力の100%再生可能エネルギー化の実現を目指すセブン-イレブンと地域のカーボンニュートラル推進への貢献を目指す北陸電力グループの双方の方針が合致し、実現したもので、北陸電力グループ初の取り組みとなります。

今回の取り組みでは、北電BESTが福井県坂井市に太陽光発電所を新設し、発電した全ての電力を、北陸電力が北陸地域のセブン-イレブン約300店舗に供給します。従来供給されている電力の一部を再生可能エネルギーに置き替え、北陸3県のセブン-イレブンに広く供給することで、再生可能エネルギーの地産地消を実現するものです。今後、発電所建設を進めるとともに、来春の電力供給開始に向け、準備を進めてまいります。

さらに、セブン-イレブンと北陸電力グループでは、今回のオフサイトPPA^{※1}の取組みに留まらず、北陸地域のCO₂排出量削減に向けた様々な取り組みについて、引き続き検討を進めてまいります。

※1 PPA：電力販売契約（Power Purchase Agreementの略）

■本サービスのイメージ



■本サービスのポイント

- ・北陸電力グループ初のオフサイトPPAにより、新設発電所から北陸地域のセブン - イレブン店舗向けに20年間にわたり電力供給する地産地消のスキームです。
- ・再生可能エネルギーの推進にあたっては、既存設備を活用するのではなく、新規に設備を構築し再生可能エネルギーの拡大に寄与することが企業姿勢として重要視される中、今回、新たに6,000kW超の大規模な太陽光発電所を構築し、セブン - イレブンの長期間安定的な再生可能エネルギー電気の調達を可能とします。

■本サービスの各社のメリット

- ・セブン - イレブンは長期にわたり安定的に再生可能エネルギーの調達が可能となります。
- ・北陸電力グループは、長期にわたり継続的にサービスを提供することが可能となり、地域のカーボンニュートラル推進に貢献できます。

■太陽光発電所の概要

名 称	北電BESTテクノポート福井太陽光発電所
所 在 地	福井県坂井市三国町米納津地内
発 電 出 力	パネル容量 6,220kW (3,110kW×2基)
開発・運営主体	北陸電力ビズ・エナジーソリューション (株)
完成時期	2022年 春予定

以 上